



第74号

〒441-3421 愛知県田原市田原町汐見5 田原文化会館内
TEL.<0531>22-2622 FAX.<0531>22-2625

はじめての英会話

前期

参加者募集

日 時 6月10日～10月14日 隔週金曜日 全10回 10:30～11:30
場 所 田原文化会館 201会議室
定 員 15名
会 費 一般3,000円 会員1,000円(全10回分)

初歩的な英会話や簡単なリスニング、発音のコツなどを学習します。これから英会話をはじめたい方のためのゆっくり、じっくり学べる教室です。



使える英語

前期

参加者募集



日 時 6月17日～10月21日 隔週金曜日 全10回 19:30～21:00
場 所 田原文化会館 101会議室
定 員 25名
会 費 一般3,000円 会員1,000円(全10回分)

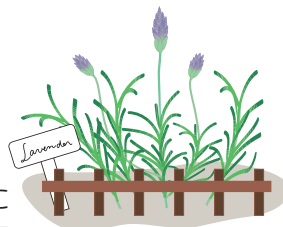
日常会話や旅行会話など、わかって話せる英語力を身につけたい方におすすめの教室です。

ラベンダーポプリ作り

毎年ラベンダーの咲く頃に、事務局を開放しておこなっています。日程についてはまだ決まっていますが、6月中旬前後の午後を予定しています。

場 所 TIA事務局
定 員 15名
会 費 500円

ラベンダーの香りにつつまれた会場で、リラックスしてポプリ作りを体験してみませんか。作成後はお茶とケーキのご用意もあります。



※イベント申込み、問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ

2011年度 たはら国際交流協会 行事予定

月	事業と主な内容	日程と会場
4月	にほんご教室 通年 毎週金曜・日曜の2回開催※	田原文化会館 会場は変更する場合があります。
5月	定期総会・懇親会	14日(土) 中部市民館
6月	ラベンダーのポプリ作り はじめての英会話(昼間クラス) 全10回 6月～10月 使える英語(夜間クラス) 全10回 6月～10月	中旬 田原文化会館 6/10～10/14 田原文化会館 6/17～10/21
7月	ALT送別会 第5回半島親睦交流会 世界のダンス・バーベキューなど JICA研修生歓迎パーティーとホームステイ受入れ	中旬 中旬 下旬
8月	ラオスに「絵本を届ける運動」(シャンティ)	中旬
9月	初級中国語教室 全8回 9月～11月 意見交換会「あ～したい、こ～しまい」	9/21～11/9(予定) 中旬
10月	初級韓国語教室 全6回 10月～11月 異文化交流会 第20回市民海外派遣 中国昆山・青島 4泊5日 市民まつりに参加	田原文化会館 中旬 中旬 23日(日) 田原文化会館
11月	はじめての英会話(昼間クラス) 全10回 11月～3月 使える英語(夜間クラス) 全10回 11月～3月 第4回国際理解講座 第20回市民海外派遣帰国報告会	田原文化会館 田原文化会館 中旬
12月	クリスマス会 第20回市民海外派遣写真展	10日(土) 中旬
1月	初級英会話教室 全6回 1月～3月 世界の料理教室 東三河スピーチコンテスト	田原文化会館 中旬 22日(日) 豊川
2月	第4回多文化研修会 富士山方面にて多文化研修会	19日(日) 富士山方面
3月	会員親睦交流会	初旬

※ 金曜 PM7:30～9:00、日曜 AM10:00～12:00

各行事の詳細は、今後の機関紙等でお知らせします。

《ホストファミリー募集中》



JICAの研修生受入れには、市内のご家庭に協力いただき、ホームステイを行っています。あなたのご家庭でも海外からのお客様をお迎えしてみませんか？2泊程度の短い期間ですが、温かな交流ができ、外国旅行とはひと味違った体験をすることができます。研修生が本国に帰った後も、交流を続けているファミリーもあります。あなたもホストファミリーとして、登録してはいかがでしょうか。詳しくは、たはら国際交流協会事務局まで、ご連絡ください。

世界の料理教室 ～スリランカ料理に舌鼓～

去る1月30日(日)、福祉センターにおいてスリランカの料理教室が行われ、参加者は子供6名を含む31名でした。毎年いろいろな国の料理を習ってきましたが、今回はご主人が豊橋技科大学に留学されているスリランカ人のアサンギさんに、スリランカの家庭料理を教えていただきました。

スリランカと言えば、インドと同じようにカレーがポピュラーな料理です。そこで、今回のメニューにも入れていただきました。メニューは鮮やかなイエローライス、なすのドライカレー、スパイスの効いたスリランカ風コロッケ、野菜サラダ、そしてココナッツミルクと黒糖を使ったデザートです。普通、私たちはカレーと言えばターメリックなどのスパイスが効いた黄色い食べ物を思い浮かべますが、今回のカレーはまったく違い、野菜たっぷりの上、お酢が入ったとてもヘルシーな料理でした。また、コロッケは、肉は使わず、さばの水煮缶を使ったもので、冷めても美味しく、お弁当のおかずにも重宝しそうです。

食事後は、アサンギさんが民族衣装に着替え、スリランカについてのお話や、質疑応答で楽しく過ごしました。



お伊勢参りとおはらい町散策 ―第3回 多文化研修会―

毎年2月の中旬に実施している多文化研修会は、在住外国人の方といっしょに、1日かけて日本らしい観光地を訪れるバスツアーです。3回目の今年は今話題の日本一のパワースポット伊勢神宮を中心にしたコースでした。



2月13日(日)天候は晴れ、底冷えする真冬の早朝大型バス2台総勢109名がめっくんはうす駐車場で合流し、午前7時15分伊勢神宮に向けて出発しました。車内では、カラオケやビンゴゲームで盛り上がり、参加者同士打ち解けることができました。二見プラザでは、夫婦岩の見学や買い物を十分に楽しみました。予定より早く伊勢神宮に到着。バスガイドさんから参拝の作法や注意事項の説明を受けた後いざ内宮へ、今日一番の渋滞、参拝の長蛇の列に驚かされました。

帰路は、フェリーを利用するコースで船酔いを心配した人もありましたが、多くの参加者は長い一日の疲れが出たのか眠っている間に伊良湖到着となったようです。

お花見に行って来ました



3月27日の日曜日、冷たい風が吹く滝頭公園で「にほんご教室」の皆さんがお花見をしました。

とはいってもこの日の開花状況は0%。文字通りの「花より団子」で、持ち寄った料理に舌鼓を打ちました。並んだ料理は手作りの餃子や稲荷寿司、お菓子など。「何ていう料理?」「どうやって作るの?」などと話しながらおいしくいただきました。

お昼ごはんの前には全員で「電波ゲーム」と「誰が〇〇で△△をする」のゲームをして身体を温め、日本語の勉強もしました。

今回は満開の桜が見られるといいですね。来年をお楽しみに!



ジョージタウンより



地球の反対側の友

3月11日、出勤前にいつも天気予報をチェックする朝のニュースで、「日本の東北で大きな地震があり、津波がハワイ、アメリカ西海岸に来る可能性があります」と聞いて、即豊橋の実家に電話をしました。繋がらないだけでなく呼び出し音もいつもと違い、阪神大震災の記憶が蘇りました。学校に行くと、同僚が皆心配し、「明（めい）やご家族は大丈夫なの？」と聞いてくるので、今度は携帯で電話をしたものの全然繋がりません。東北の地震ならまず東海地方は大丈夫だと思ったのですが、それでも周りがあまり心配するので、インターネットで名古屋のテレビ局のホームページを見て、特に事故などなかったことが確認できました。仕事が終わって午後4時半頃やっと電話が繋がり、様子を聞くことができました。娘が3月10日に日本に帰ったばかりで、一日遅れば多少影響があったことでしょう。

離れていると緊急時には歯痒いものです。それ以来東日本大震災のニュースが続き、日本語のTVジャパンでも24時間報道されました。アメリカでの震災への関心や心配は近年のハイチ地震よりずっと高く、それは日米関係の強さ、日本企業がケンタッキーに多く進出していることとも関係があります。同じ先進国として震災が現代社会にどれほど破壊力を持つのか、とても他人事と思えないところも大きいでしょう。東北出身ではない私でも会う人皆が心から心配をしてくれて、母国の危機をひしひしと感じ不安になりつつも、勇気付けられました。被災地出身やご家族友人が被災地にいる米国在住の方々の気持ちを考えると辛いです。

しかしチャリティーの盛んなアメリカはさすが、被災地支援の運動は全米で即刻始まり、全国放送のニュースで広く寄付金を募る一方、地方でも次々と展開されています。このブルーグラス地域での皮切りは、アメリカ赤十字のブルーグラス地域チャプター主催の津波被害者救済ウォークが、3月26日にトヨタなどの協賛で行われ、\$18,752（約150万円）が集まりました。その後も赤十字にこの地方の企業から\$50,000（約420万円）の寄付があったり、ケンタッキー日米協会を通じて個人や企業からも寄付金が集まっています。

ジョージタウンでは、高校の日本語クラスの生徒が募金をしています。今年は仙台出身の日本人留学生がスコット高校に在籍していて、お家もご家族もご無事ということですが、皆心配しています。私の働くウエスタン小学校では被災地で犠牲になっているペットの餌代にと、併設されている幼稚園の生徒が募金をしました。日本語訳を付けてもうすぐ送る予定です。

こんな草の根活動を始め、企業からの多額の寄付だけでなく、日本の犠牲者に涙して心を痛めているアメリカの友人がたくさんいます。助けることや痛みを分け合うことでまたもっと親しい友人になれる、そんなことを痛感する毎日です。

今日4月16日、友好園にて募金活動が行われました。これからもジョージタウン、また日本人の多く住む隣のレキシントンで日本を応援していくことでしょう。

ジョージタウン在住 クーパー由紀

編集後記

10数年振りでブリッジの後書きを書いています。昨年は国際交流協会設立20周年でした。ほんとうに月日のたつのは早いものです。

家業に追われて行事参加もご無沙汰しっぱなしでしたが、今年は少しずつ……と思っています。

先日テレビでフラダンスの奥深さを知りました。田原で教えてくれるところあるかしら。

(M.S)

LIFE-UP
Hallo
Reform&Culture
株式会社 ハロー

田原市田原町汐見34 TEL (0531) 23-3100(代)



ふるさとづくりの お手伝い

藤建設株式会社

FUJI CONSTRUCTION CO., LTD.

〒441-3422 愛知県田原市赤石1丁目19番地
TEL. (0531) 22-0187
FAX. (0531) 23-2214
E-mail: info@fujikensetsu-tahara.com

本誌は再生紙を使用しています。